

11 最後に

今日はたくさん勉強しましたね。
役に立ちそうな情報はありましたか？



もちろんじゃ！！
介護保険や町の福祉事業なんて全く気にしたこともなかったけど、上手に活用すれば、かわいい孫と一緒にずっと元気に暮らして行けそうな気がするよ。
やっぱり自分の家で暮らすのが一番幸せだからね。

あはは。そうですね。
地域包括支援センターが何でも気楽に相談できる場所だということと、認知症は予防が何よりも大切であること、忘れないでくださいね。



今日勉強したこと、急にたくさんは使いこなせないけど…。
とにかく、困った時は地域包括支援センターに相談すればいい
ってことだけは忘れないようにしないとね！
たくさん相談させてもらうからね。これからもよろしくね！！

認知症は、誰でもかかる可能性がある病気です。

でも悲観的になることはありません。

認知症になっても、みんなで支え合う町づくりはもう始まっています。

みんなが住みやすい外ヶ浜町であるために、

皆さんのご理解とご協力をお願いします！



外ヶ浜町の認知症対策にご協力をいただいている、
中野脳神経外科・総合内科クリニックの中野高広院長から
認知症についてアドバイスをいただきました！！



認知症は発症し始めてから長い経過を辿ります。介護を始めるためには早期に発見し、正しい診断をしてあげることが必要です。認知症を疑う最初のきっかけがもの忘れです。それから場所や日にちが分からなくなり、さらに進むと今まで出来ていたことができなくなります。

認知症の人はそれまでできたことができなくなっていく辛さや不安を感じています。特に、興奮や攻撃的な反応などが多くみられる時期は、自身におこっている変化にとまどいパニックに陥っていますので、早期に環境を整えるのがポイントです。その際「なじみと安心」というのが大切なキーワードです。認知症では今いる場所や人が分からなくなりますので、これまでの人生、生活というものから自分が切り離されて不安になっています。これまでの生活との連続性を保ってあげることが、安心感を与える事になります。



医療法人ルポアヴェール
中野脳神経外科・総合内科クリニック
中野 高広 院長

介護者はしばしばイライラした気持ちになります。でも認知症の人は自分自身と介護者の関係が曖昧になっていますので、目の前の人イライラした様子の場合には、「なぜ、この人がイライラしているのか？」と不快な気持ちになりやすいのです。自分自身が「快」な気持ちで関わりができていと認知症の人にも「快」になるとの考え方で、一歩ひいて余裕をもって見守る態度が大切です。

身体の異常がみられる場合は医療機関への受診、場合によっては入院、環境要因によっては介護施設への入所が必要になることもあります。